ボクらのまちの

グループ紹介

県内山岳地域のゴミ一掃をめざして運動を進めている山岳愛好団体。山岳美化と自然保護の観点から幅広い運動を実践している。

山のゴミは、ここ数年、国内外で大きな関心を集めている。昨夏、ゴミをまき散らす日本の登山隊に米国から抗議の手紙が寄せられたが、これは、ゴミへの関心が世界的に高まっていることを示した象徴的なできごとでした。

山を美しくするには、まず、山のゴミの持ち帰りから……

山を美しく

「新潟県山のゴミ会議」

猪俣　信市（関屋下川原）

山のゴミ会議は昭和四十七年七月、うぶ声をあげた。

ゴミ処理システムの確立も徐々に成果をあげている。昨秋の苗場山清掃登山では地元湯沢町が主催団体となり、初めて行政サイドが音頭をとる形で進められた。

ゴミ会議の組織は事務局を中心に、運営委員会ー地方連絡員の形で構成されており、現在三十四団体約千人、個人会員二百人がいる。活動状況については、随時ゴミ会議通信を発行して会員に知らせている。また、毎週月曜日を定例会とし、清掃登山の立案、計画などを話し合うほか、会員の親ぼくを図っている。

事務局は新潟市関屋下川原町一の三の一五関屋ハイツ五〇八号　猪俣信市方

①行政当局・関係団体に対してゴミ処理システムの確立を働きかけるーの三本柱を基本方針として精力的に運動を進めている。

四十七年の五頭連峰を皮切りに飯豊連峰、妙高山、谷川岳、苗場山など県内の名峰、高峰はひと通り踏破。参加延べ人員は三千二百人に達し、約五十トン近いゴミを持ちおろした。

②清掃登山の実施

③"山のゴミ持ち帰り"のPR

下水道問題　最終回

人間都市への道

金のかかる下水道整備

限界にきた浄化作用

工場もなく人も少なかった当時、川は自己の浄化作用で、少々の汚れはきれいにしてくれました。石ころを投じ水面に生じた波紋がひとりでにしずまり、またなにもなかったかのようにもとの姿に返すには大変な努力が必要でなに戻るようにー。

川は私たちに水を与えてくれます。幸い信濃川はそこまで汚されていません。しかし鳥屋野潟は瀬死の状態で水をいろいろな形で使い、生活のアカを含ませて川に戻しています。私たちはこれ以上汚してはなりません。

それでも川はアカを心よく受け入れ、きれいな水にしてくれたのです。

しかしそれにも限度がありました。私たちの流すアカがあまりにも多くなり過ぎて怒ってしまいました。その限界を早く知るべきだったのです。

汚れた川をもとの姿に返すには大変な努力が必要です。東京都の荒川など〝死の川〟になってしまったところは、全国でいくつもあります。幸い信濃川はそこまで汚されていません。しかし、まだ間に合います。

さて「新潟市の下水道は」とみると、完備しているのは船見処理区というほんのごく一部だけで、残念ながら市の住事としても全国平均にも遠しているといえます。

家庭排水と下水道

昭和四十六年に「水質汚濁防止法」が制定され、工場などの排水が規制されましたが、まだまだ問題はあるとはいえ、これで汚濁原因の一部に「まった」がかけられたわけです。残る家庭排水がこれからの課題といえます。

家庭排水――それは、下水道整備にかかっており地方自治体の課題でもあります。

同時に河川の水質汚濁を防ぐには下水道の早急な整備を進めなければなりません。処理場の建設、下水管の埋設など、膨大な資金と長い時間のかかることも事実です。現在、整備が本格化している中部処理区を完備するだけでも約一千億円、市内全体になると想像もできないほどのお金がかかると思われます。当然のことながら市の住事としても限界があるわけです。

産業優先か生活環境優先か

そこで国の抜本的な対策がぜひとも必要なのです。

清掃行政にも共通することですが、下水道行政をヨーロッパ諸国と比較すると、圧倒的に日本が立ち遅れています。なにが遠っているのでしょうか。産業関連施設優先かそれとも生活環境施設が優先か、その遠いでしかなかったのではないでしょうか。

下水道とよく引き合いに出されるのが道路です。国の現時点の整備五カ年計画は、道路が第七次まで進行しているのに、下水道はようやく第四次を迎えているところです。単純にこれだけを比較しても下水道は道路に十五年遅れていることになります。

またその投資額は第七次道路整備五カ年計画に十九兆五千億円、第四次下水道整備計画は七兆五千億円を見込んでいます。ですから半分にも満たない状態です。確かに道路は私たちの生活必需品の流通を初め、交通など生活環境施設です。しかし同時に、産業関連施設であることも見逃がせません。国は国土開発計画あるいは産業振興策としての観点からも道路整備に力を注いできたといわれています。

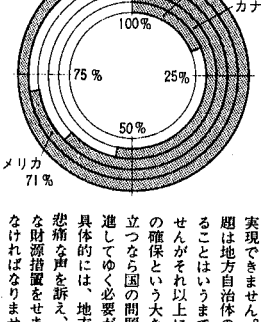
苦境に立つ地方自治体

下水道行政関係者の間に〝道路なみの予算〟をという声があります。河川の水質保全、快適な市民生活への関心の高まりの中で、立ち遅れてきた下水道をいつごく早く整備したい、しなければならないとのさけびでもあるのです。膨大な経費を投じても思うように整備が進まない、しかし水質汚濁は進む……地方自治体は下水道問題で苦境に立たされています。

河川の汚濁防止を図るには、その流域市町村すべてが下水道を完備しなければ実現できません。下水道問題は地方自治体の課題であることはいうまでもありませんがそれ以上に、水質源の確保という大きな観点に立つなら国の問題として促進してゆく必要があります。具体的には、地方自治体の悲痛な声を訴え、国の大幅な財源措置をせまってゆかなければなりません。

（おわり）

各国の下水道普及率



にいがたむかしかわらばん

はまゆさん

行楽、ハイキング、散策、レクリエーション、みんな語感のいいそう快なコトバではある。でも、「ゆさん」というコトバもわるくない。漢字では「遊山」と書く。そう書くと、なにか山へ行くことだけを指しているようだが、新潟のオールド・ゼネレーションは「浜遊山」というコトバを忘れてはいないだろう。初夏の海の碧をエンヤエンヤとたぐり寄せるイワシ網を眺めながら、浜で食事をすることである。それも恋人と一緒などでなく、一家そろって、という暗黙の条件をもつものであった。

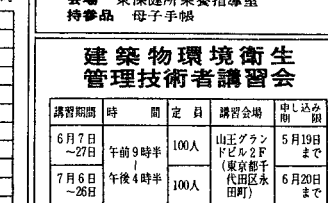
浜遊山は、江戸から明治にかけて盛んに行われた。その中心は「遊ぶは、げにや浜遊山、心も広き広小路」の広小路浜や日和山海岸であった。

新潟が幕府直轄領になった時の初代奉行川村清兵衛就（ナガタカ）は、新潟風俗を「あまの手ぶり」という文と画にまとめているが、そこにはもちろん浜遊山の描写がある。

「花、紅葉、たずぬる山もなければ、網ひきするころ浜辺に出ずるこのうえもなき楽しみ」としている新潟人が「空らからなる日」どっと海岸にくり出し「嵩めるも貧しきも、見わたしよき砂の上、あるいは波うちぎわなど」に、敷物など敷かず円陣をつくって「もののうちくらい、酒くみかわして」いるうちに、イワシ網が揚ってくる。もう酒どころでない。ピチピチはねる銀鱗みたさに「うちつどうさま、さながらアリのむれあつまるごとし」

そのころ、新潟人には海で泳ぐという風習はなかった。めし食いつくし酒飲みつくせば、砂まみれのイワシをぶらさげて、新潟弁で「エチンチ、ヨカッタレ」（一日楽しかったなどとつぶやきながら家路につくのであった。

（新潟市郷土資料館）


新潟海岸いわし網の図（新潟奉行時代）

春の花即売会

日時　4月16・17日より毎週土・日曜　午後12時半～3時半
場所　古町十字路往友銀行前
品目　春の花苗、種子、球根（ダリヤ、カンナ、グラジオラス）
主催　新潟市花いっぱい会、新潟市連合婦人会

亀田焼却場付属無料休憩所名称募集

資格　新潟市・亀田町・黒崎町・横越村の住民に限ります。
応募　4月20日までに、はがきに名称（理由を簡単に）住所、氏名、年齢、職業、連絡先電話を明記のうえ、新潟地区広域滑掃事務組合事務局（市内平賀161、☎南新潟64―3131番）へ

52年度 犬の登録と狂犬病予防注射

東・西保健所では、犬の登録と狂犬病の予防注射を次の会場で実施しますので犬を飼っている人は、もよりの会場で必ず受けてください。（西保健所日程は㌘号掲載済）

前年度、登録をした人には「はがき」でお知らせしましたが、この「はがき」はそのまま原簿になりますので、所定の事項を記入の上、当日、会場へ必ずご持参ください。

料金　1,090円（登録手数料300円、注射料790円）

午前＝午前9時～11時半　午後＝午後1時半～4時

月・日	時間	会場
4・16	午前	出来島公民館・天神町遊園地
	午後	女池小学校・鳥屋野小学校
4・17	午前	東山ノ下小学校・桃山小学校
	午後	上所小学校・沼垂小学校
4・18	午後	大江山連絡所・濁川連絡所
4・19	午後	曽野木連絡所・両川連絡所
4・20	午後	河渡病院グランド・太平公園
4・21	午後	石山連絡所・長潟自治会館
4・22	午後	北地区事務所・南浜連絡所
4・23	午前	牡丹山諏訪神社・大形連絡所
	午後	山ノ下小学校・物見山公園
4・24	午前	山木戸保育園・中野山小学校
	午後	東地区事務所・南万代小学校

離乳食講習会

日時　4月13日午後1時～3時半
会場　東保健所栄養指導室
持参品　母子手帳

建築物環境衛生管理技術者講習会

講習期間	時間	定員	講習会場	申し込み期限
6月7日～27日	午前9時半～午後4時半	100人	山王グランドビル2F（東京都千代田区永田町）	5月19日まで
7月6日～26日		100人		6月20日まで

申し込み　東京都千代田区丸の内2丁目4－1丸ノ内ビルディング780号（財）ビル管理教育センター（☎03）214―4624）
詳しくは市衛生課環境衛生係へ